

企業名：あすか製薬ホールディングス株式会社

レポート名：ASKA HD REPORT 2021

この会社が目指す姿が理解できるか

2021年4月にあすか製薬株式会社から、あすか製薬ホールディングス株式会社へと変わり、同社はこの変化を、昨今の新型コロナウイルスの感染状況などによる急激な情勢の変化に迅速に対応するためとしている。業態を変えても、引き続き医療面から人々の健康とQOLの向上に幅広く貢献するトータルヘルスケアカンパニーを目指すことを経営理念とすると述べている。また特に環境へ配慮した経営を進めていく意気込みが感じられた。反対する理由もないため私はこの姿勢に賛同する。

この会社の競争優位性が理解できるか

あすか製薬ホールディングス株式会社は100年に及ぶ歴史を持っており、グループの中核企業であるあすか製薬はホルモン製剤を中心に、内科・産婦人科・泌尿器科の3領域に特化してきたため、他社が簡単に同質化を図れるものではないと述べられている。また薬という製品は簡単に製造できるものではないと思われる。そのため同社の競争優位性には理解ができる。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

先述の通り、製薬業界の特徴上、他社があすか製薬ホールディングス株式会社の製品を簡単に真似できるものではない。よって短期的に見れば同社の競争優位性は持続すると思われる。しかし、他社が研究を進めると、今のままではいずれは追いつかれてしまうことは想像に難くない。したがって長期的に競争優位性が持続するかどうかという問いについては、今後の研究開発の状況とその体制がどれほど整っているかによると考えられる。今回の「ASKA HD REPORT 2021」では長期的な優位性についての言及が少なく、この問いについては答えることができない。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

まず当然のこととして、製品である薬についての知識は手に入れられるだろうが、これは専門的な知識となるため、他の様々な場面でも価値があるとはいえずらい。あすか製薬ホールディングス株式会社は医療面から人や動物の健康を支援している会社であるため、一般的

な他業界の企業に比べて高い倫理観が要求される。そのため同社では、社員の倫理観を高めるための機会が多く存在する。したがって、あすか製薬ホールディングス株式会社に入社した場合、高い倫理観を持った人材になれるだろう。これは業績以外にも環境や社会への配慮が必要な現代の社会人にとって、自分に大きな価値を付与してくれると思う。また製薬会社ということもあり、製品が消費者の生活と密接にかかわっているため、自社サービスに誇りを持ち、また責任をもって仕事ができる人間になれると思う。

5. 報告書にはどのような改善余地があるか

競争優位性の持続性についての記述を増やしてほしいと思った。もちろん非常に重要な研究開発については企業秘密の部分も多く、また同業企業の状況もわかっていることが少なく、比較は難しいと分かっているが、どのように研究を加速させるかなどの説明をもう少ししてもよいと思った。